

平成 30 年度 関東支部運営委員会（第 1 回） 議事録

日時：平成 30 年 7 月 4 日（水） 14:00～17:00			会場：地盤工学会会館					
支部長	安田 進	○	副支部長	東川 直正	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長 発表会Gリーダー	北詰 昌樹	○	副支部長	長尾 俊昌	○	監 事	北本 幸義	×
監 事	高橋 章浩	○	幹 事 長	峯岸 邦夫	○	副幹事長	石川 敬祐	○
副幹事長	福原 誠	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	○
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	○	埼玉県G リーダー幹事	川本 建	×	研究委員会G リーダー幹事	渡邊 康司	○
会員SG リーダー幹事	田中 剛	×	会 員 G リーダー幹事	三上 武子	○	副支部長代理	飯野 正樹	○
全国大会 実行委員長	桑野 二郎	×	オブザーバー	樋口 俊一	×	事務局	青木 美智子	○

○：出席，×：欠席

新任の委員の自己紹介を行った。

1. 前回議事録の確認

・平成 29 年度第 4 回運営委員会議事録（2/13）

【別紙-1】

→内容を確認し、承認された。

2. 最近のスケジュール

- ✓ 平成 30 年度関東支部通常総会：平成 30 年 4 月 27 日（金）
- ✓ 第 60 回通常総会（本部）：平成 30 年 6 月 6 日（水）
- ✓ 第 53 回地盤工学会研究発表会（本部）：平成 30 年 7 月 24 日（火）～26 日（木）
- ✓ 第 15 回地盤工学会関東支部発表会 Geo-Kanto2018：平成 30 年 11 月 2 日（金）

→上記、スケジュールを確認した。

3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 「地盤工学会誌」支部編集委員推薦→佐々木氏（新任：アサノ大成）
→渡邊幹事から佐々木氏（アサノ大成）への交代を報告した。 【別紙-2】
- (2) 「地盤工学会誌」学生編集委員の推薦依頼→小宮聖子氏（新任：東京電機大）
→小宮さん（東京電機大大学院）の推薦を報告した。 【別紙-3】
- (3) 「地盤工学会誌」平成 30 年度読者モニター推薦のお願い
→平成 30 年度に更新された読者モニターリストの内容を報告した。 【別紙-4】
- (4) 【本部 会員・支部部より支部長へ】会員増加の取り組みに関するお願い
→本部からのアンケートに対する峯岸幹事長の回答を確認した。 【別紙-5】
→6/28～29に開催した「若手技術者を対象とした意見交換セミナー」に際して新たに
2名の新規入会者があったことの報告があった。
→本部では会員のメリットを高めるために支部主催の行事における会員・非会員の参
加費の差をもっとつけた方がよいとの意見がある。

- (5) 全国研究発表会での「本部・支部連絡協議会」での議事について 【別紙－6】
 - 支部主催の講習会について他支部に所属する会員の参加を促し、相互の活性化を図るために本部 HP 上に全支部の行事一覧の掲載を提案する予定である。
- (6) 【支部 HP へ情報アップのお願い】地盤品質判定士の国土交通省登録資格 【別紙－7】
 - 本部からの依頼内容及び関東支部の対応を報告した。(HP へアップ済)
- (7) 地盤工学会・第 7 期代議員当選人決定のご連絡 【別紙－8】
 - 第 7 期代議員当選人を報告した。
- (8) 平成 30 年度下期の地盤工学会誌講座について 【別紙－9】
 - 支部成果を題材とした講座の掲載について承諾したことを報告した。
- (9) 災害連絡会議 「地方委員」「地方連絡委員」確認のお願い 【別紙－10】
 - 地方委員、地方連絡委員を確認した。
- (10) 訃報

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 平成 30 年度支部役員体制について 【別紙－11】
 - 体制表を確認し、修正が必要な場合には事務局の青木さんへ連絡することとした。
- (2) 平成 30 年度関東支部総会議事録 【別紙－12】
- (3) 平成 30 年度第 1 回評議員会の開催日及び特別講演会の内容について 【別紙－13】
- (4) 平成 30 年度第 2 回評議員会の開催日及び特別講演会の内容について
- (5) 平成 31 年度関東支部総会の開催日及び特別講演会の内容について
 - 開催日程は、今後日程を調整して決定する。
 - 特別講演会の内容（案）として、
 - (候補 1) 東京外環道工事→関東地方整備局の担当事務所に確認
 - (候補 2) 南海トラフ→中部支部に講師依頼
 - (候補 3) はやぶさ（的川先生：JAXA）
 - (候補 4) はやぶさ 2（松島先生の知り合い）→来年の総会が候補か？
 - (候補④) 圏央道のシールド工事，相鉄・東急直通線新綱島駅（仮称）工事
- (6) 70 周年，全国大会及び企画に関して 【別紙－14】
 - 会場となる大宮ソニックシティに本申請を実施したことが報告された。
 - 屋外の展示スペースの利用法等として、関東地整に起震車等の体験車両や災害対応の機械・車両について展示を依頼する案があり、必要な手続きや対応可能な内容について確認しながら進めていく。
 - 関東地整に「後援」依頼を年末から年明け頃の時期で行う。また、埼玉県やさいたま市とも「後援」依頼をしても良いのではないかとの意見があった。
- (7) 平成 30 年度関東支部賞について 【別紙－15】
 - 平成 30 年度も募集を行うものとし、積極的な推薦を周知する。
- (8) 会員データベース更新のためのアンケートの実施内容 【別紙－16】
 - 対象は、学校関係者に加えて名誉会員、プレミアム会員とする。
 - 民間に対しては今後広げるか検討
 - 頭書について利用方法がわかる文章を追記してメール配信予定(締切は 1 ヶ月程度)
- (9) 自治体（都・県）との災害協定の締結について 【別紙－17】
 - 対象範囲を絞って依頼文の案を企画・総務 G で作成する。
 - 締結は自治体と支部とし、窓口に各県 G になる体制とする。

(10) 平成 30 年度予算執行状況 (5 月末現在)

【別紙-18】

→本年度より支部の流動資金は 100 万円で運用している。

5. メール審議決定事項

- (1) 埼玉県 G「彩の国市民科学オープンフォーラム」共催依頼
- (2) 歴史遺産委員会「横須賀市主催講演会」の講演依頼
- (3) 「弘仁地震 1,200 周年記念防災パネル展示」(防災啓蒙パネル展示) 講演依頼
- (4) 茨城県 G「国際講演会」の主催について
- (5) EDO-EPS 工法の実物大耐震実験の公開に関する後援依頼
- (6) 群馬県 G「新三国トンネル現場見学会」

→メール審議にて承認されていることを報告した。

6. 開催結果, 進捗状況の報告 (前回運営委員会以降, 開催分を記載)

- (1) 2/26 特別講演会「赤色立体地図の原理と応用-様々なスケールの地形から何を読み取れるか-」 参加者: 55 名
- (2) 4/27 特別講演会「東京都心の 3 次元地盤モデルに基づく伏在活断層の推定」 参加者: 72 名
- (3) 5/26 会員 SG「ジオ散歩~等々力溪谷と多摩川周辺古墳群を巡る~」 参加者: 26 名
- (4) 6/8「地盤情報を活用した首都直下型地震への対策検討委員会の成果報告会および講習会」 参加者: 50 名
- (5) 6/28-29 企画総務グループ「若手技術者を対象とした意見交換セミナー」 参加者: 29 名
- (6) 6/28 後援行事「EDO-EPS 工法 実物大耐震実験・公開実験」
- (7) 6/29 茨城県グループ「アブドラ・トルガ・オザール博士の特別講演会」
- (8) 7/10 群馬県グループ「新三国トンネル現場見学」
- (9) 7/16 後援行事 第二海堡ツーリズム化の機運を高めるため「東の軍艦島 第二海堡の秘密に迫る」海上見学企画クルーズと講演会
- (10) 7/21 共催行事 平成 30 年度“彩の国”市民科学オープンフォーラム「大宮駅グラウンドセントラルステーション化構想を『防災』の視点から考える」
- (11) 8/10 「極大地震時における表層地盤の強い非線形現象とその影響に関する研究委員会」の終了とシンポジウム開催

→上記の開催結果, 進捗状況が報告された。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービス G

【別紙-19】

- (2) 茨城県 G

【別紙-20】

→「地盤の計測・探査技術見学会(案)」について屋外デモがあるために参加者の保険の必要性について会場となる応用地質に確認をする。

- (3) 栃木県 G

【別紙-21】

→高校生向け地盤工学読本の編集を計画しており, 以前, 茨城県 G の 10 周年事業で作成したものが参考となる。

- (4) 群馬県 G

【別紙-22】

- (5) 山梨県 G

【別紙-】

- (6) 千葉県 G 【別紙－23】
- (7) 埼玉県 G 【別紙－24】
- (8) 神奈川県 G 【別紙－25】
- (9) 研究委員会 G 【別紙－26】
- 「法律家・消費者のための住宅地盤 Q&A」講習会は 9 月下旬から 10 月上旬に開催する予定である。
- (10) 支部発表会実行委員会 【別紙－27】
- スポンサー募集に際して支部長名の依頼文を配布する。
- スポンサー企業の技術紹介の希望団体が多い場合には特別会員を優先する。
- (11) 企画総務 G 【別紙－28】
- 70 周年全国大会における支部の企画としてインスタグラム等を用いた地盤工学に関する写真コンクールの提案があり、管理手法について実績のある団体等に確認しながら進めていく。

8. その他

- (1) 退会・等級変更届
なし
- (2) 新入会
- ・錦城護謨（株）東京支社（4 級）3 月入会
 - ・国際ジオシンセティック学会日本支部（2 級）4 月入会
- (3) 次回運営委員会開催日程
平成 30 年**月**日（前年度は、平成 29 年 10 月 4 日に開催）
- 平成 30 年 9 月 12 日 14 時～17 時の予定とする。